

参考値

福島第一 港湾内 海水核種分析結果 < 1/2 >

(データ集約 : 10/17)

採取場所	福島第一 物揚場前海水 [*]				福島第一 1~4号機 取水口内北側海水 (東波除堤北側)		福島第一 1号機取水口 (遮水壁前)		福島第一 2号機取水口 (遮水壁前)		福島第一 4号機スクリーン海水		炉規則告示 濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年10月16日 8時35分		対象外		平成26年10月16日 8時08分		平成26年10月16日 8時25分		平成26年10月16日 8時20分		平成26年10月16日 8時13分	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	-	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	-	-	2.3	0.04	ND	-	2.9	0.05	4.5	0.08	60
Cs-137 (約30年)	2.8	0.03	-	-	4.0	0.04	8.2	0.09	8.2	0.09	17	0.19	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約2Bq/L、Cs-134が約2Bq/L)を下回る場合は、「ND」と記載。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

* シルトフェンス開閉を行った日は、開閉実施後にもサンプリングを実施。

参考値

福島第一 港湾内 海水核種分析結果 < 2/2 >

(データ集約 : 10/17)

採取場所	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (遮水壁前)		福島第一 港湾口 *				福島第一 6号機 取水口前海水		福島第一 港湾中央				炉規則告示 濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年10月16日 8時15分	対象外		対象外		平成26年10月16日 8時40分	平成26年10月16日 8時10分	平成26年10月16日 8時10分	平成26年10月16日 8時10分			
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	-	-	-	-	ND	-	ND	-			40
Cs-134 (約2年)	2.7	0.05	-	-	-	-	ND	-	ND	-			60
Cs-137 (約30年)	8.3	0.09	-	-	-	-	ND	-	5.2	0.06			90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

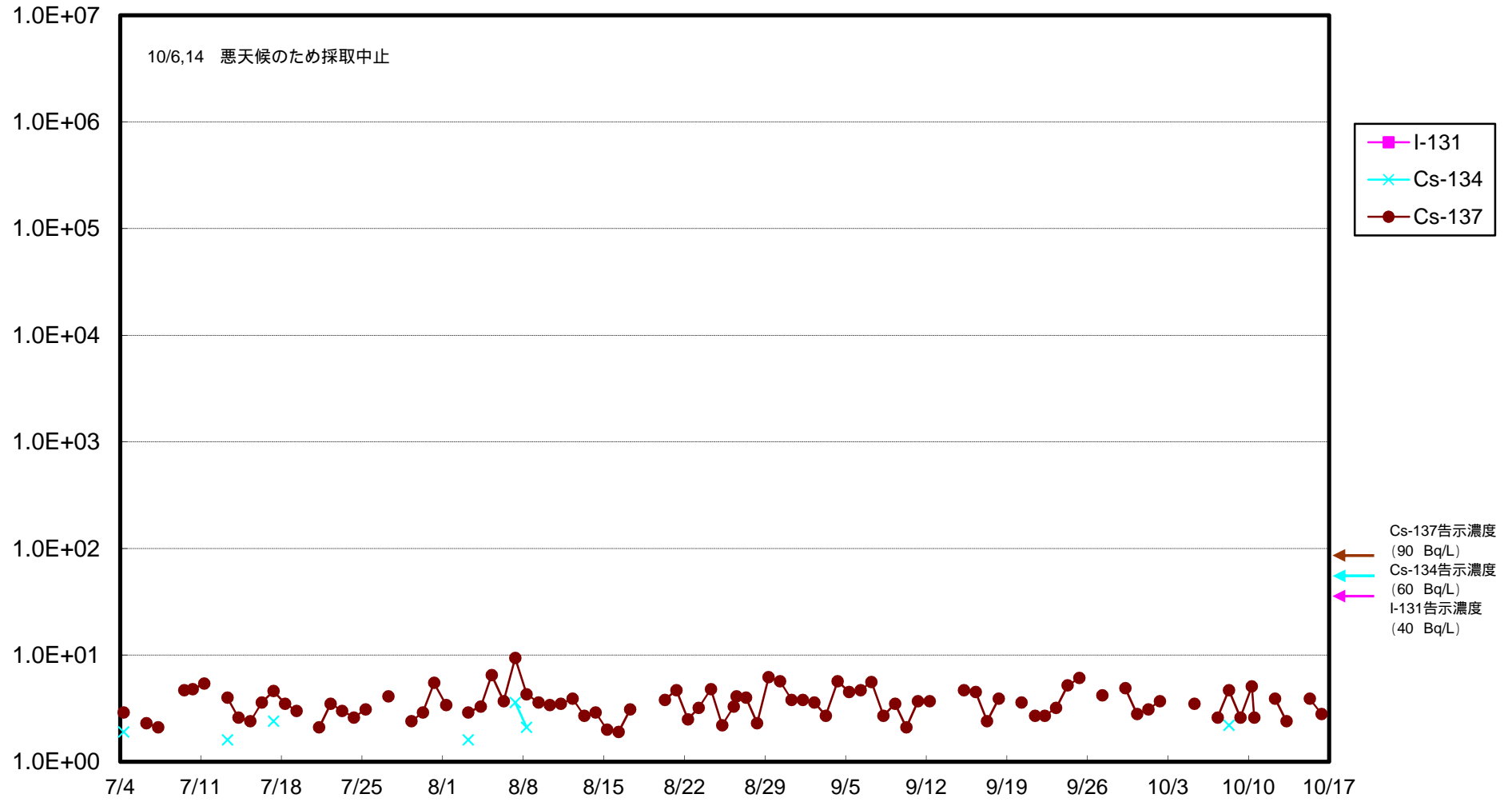
二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約2Bq/L、Cs-134が約2Bq/L、Cs-137が約2Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。

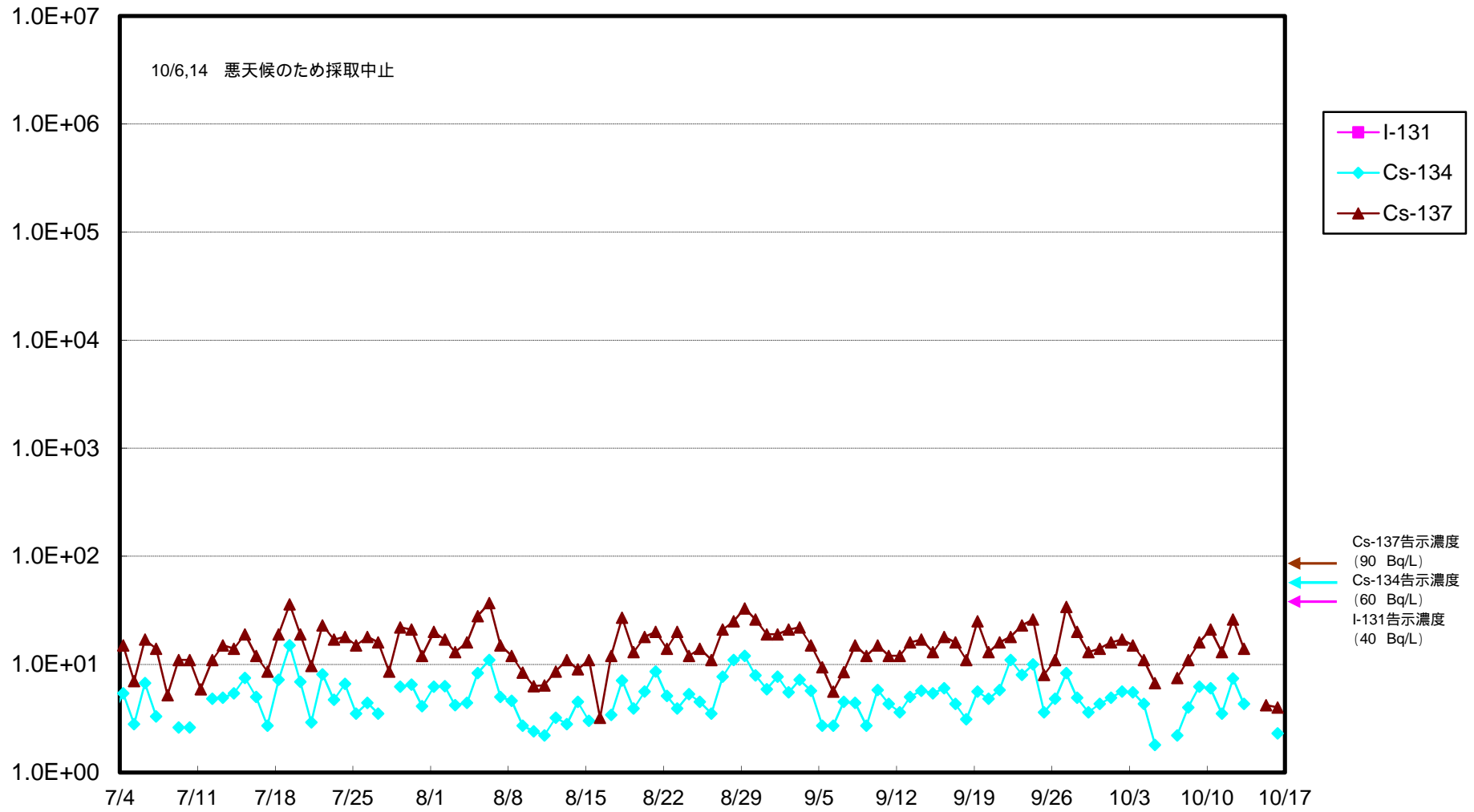
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

* 一回 / 週の頻度でサンプリング実施 (シルトフェンスの開閉, 及び港湾内被覆工事を行った日にもサンプリング実施)。

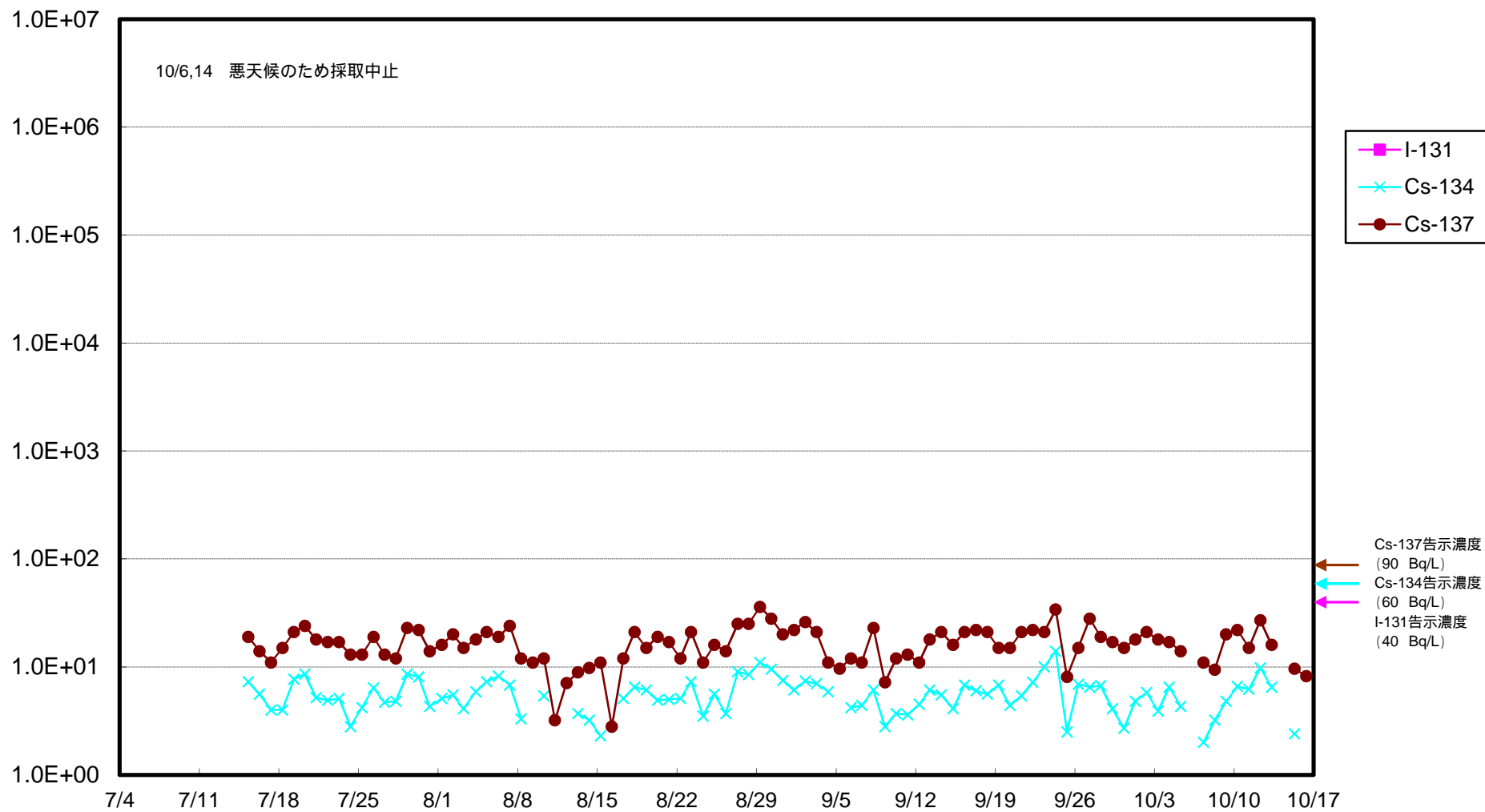
福島第一 物揚場前海水放射能濃度 (Bq / L)



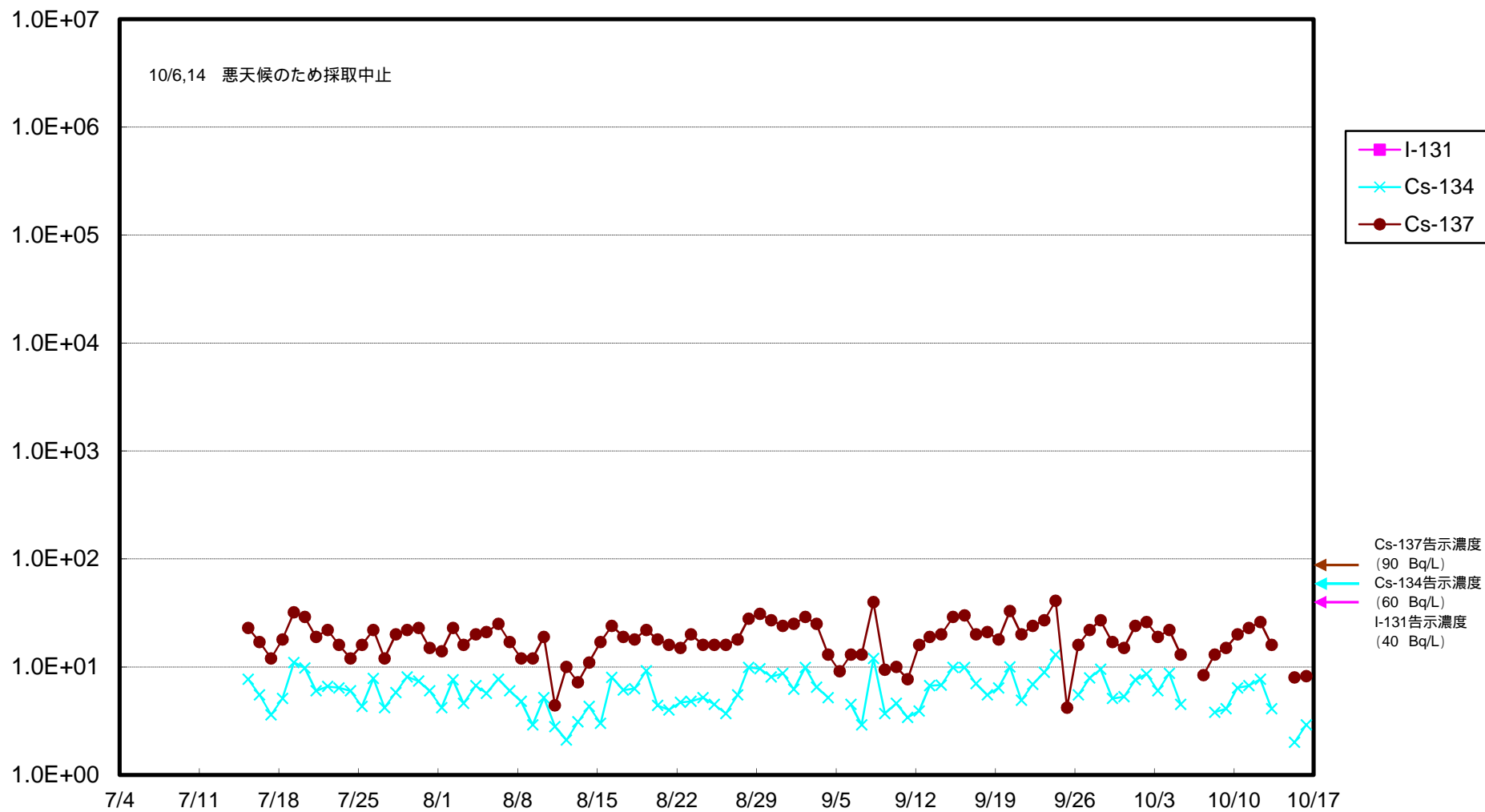
福島第一 1~4号機取水口内北側海水(東波除堤北側)放射能濃度(Bq/L)



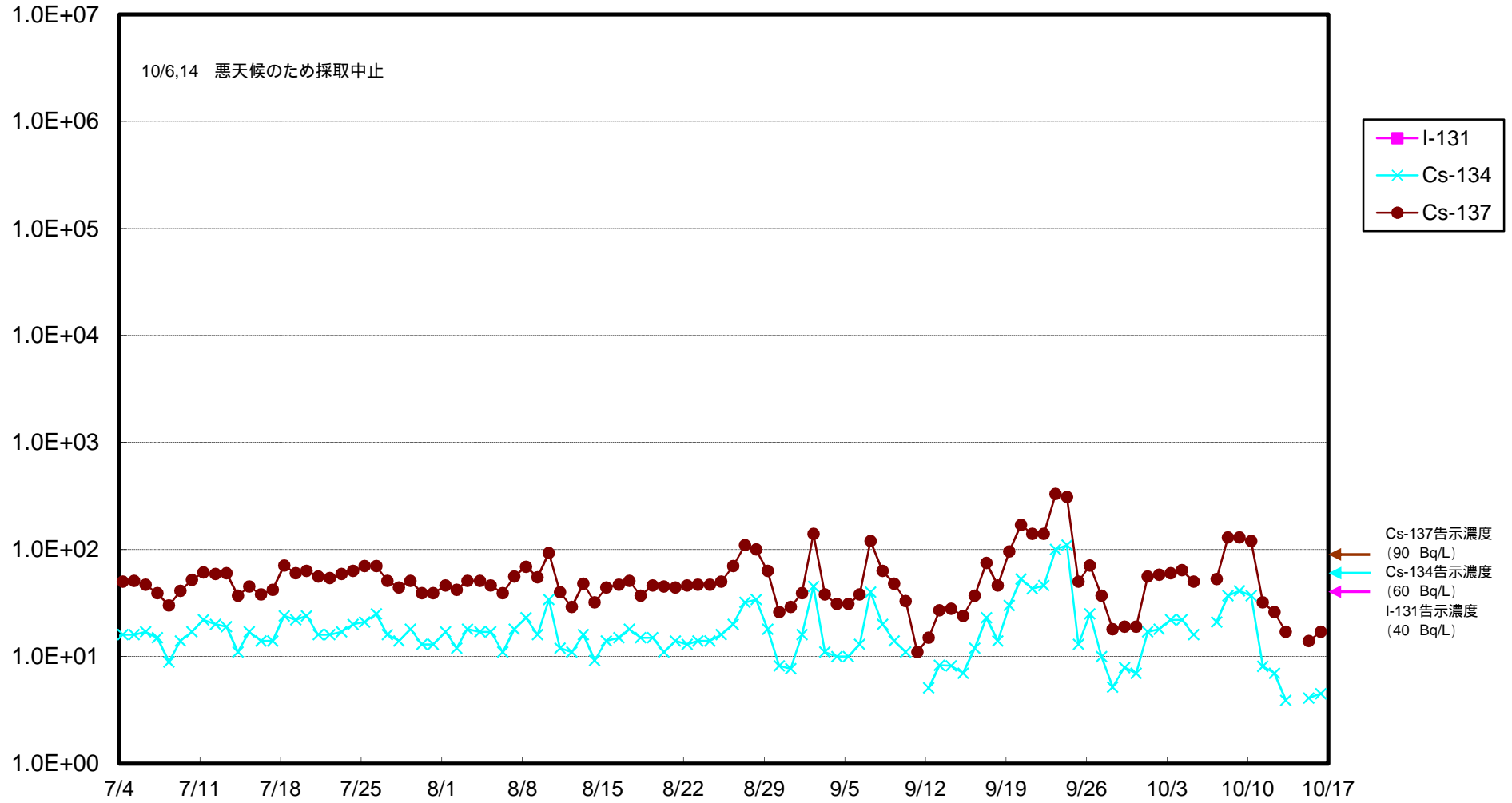
福島第一 1号機取水口(遮水壁前)海水放射能濃度(Bq / L)



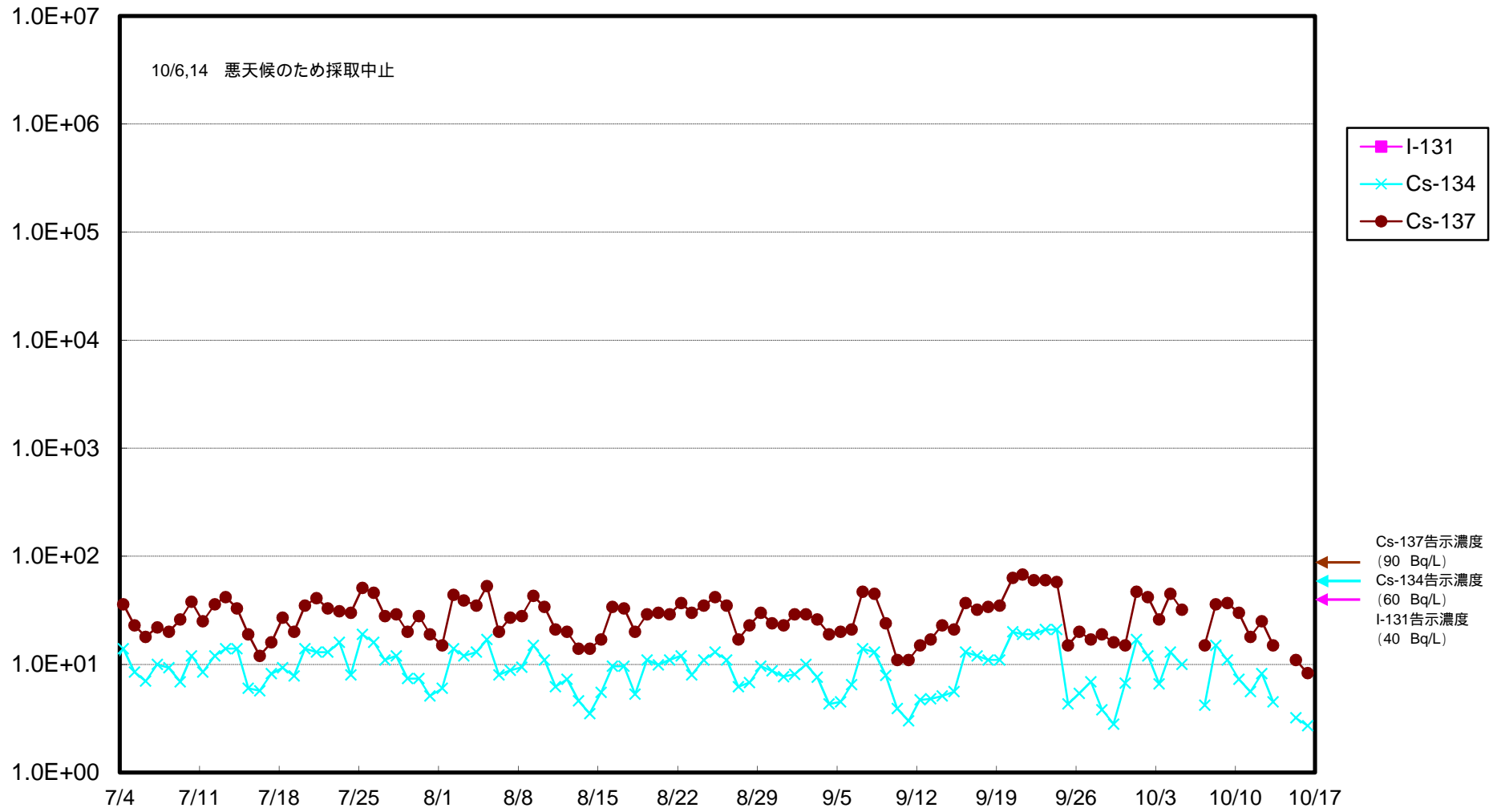
福島第一 2号機取水口(遮水壁前)海水放射能濃度(Bq / L)



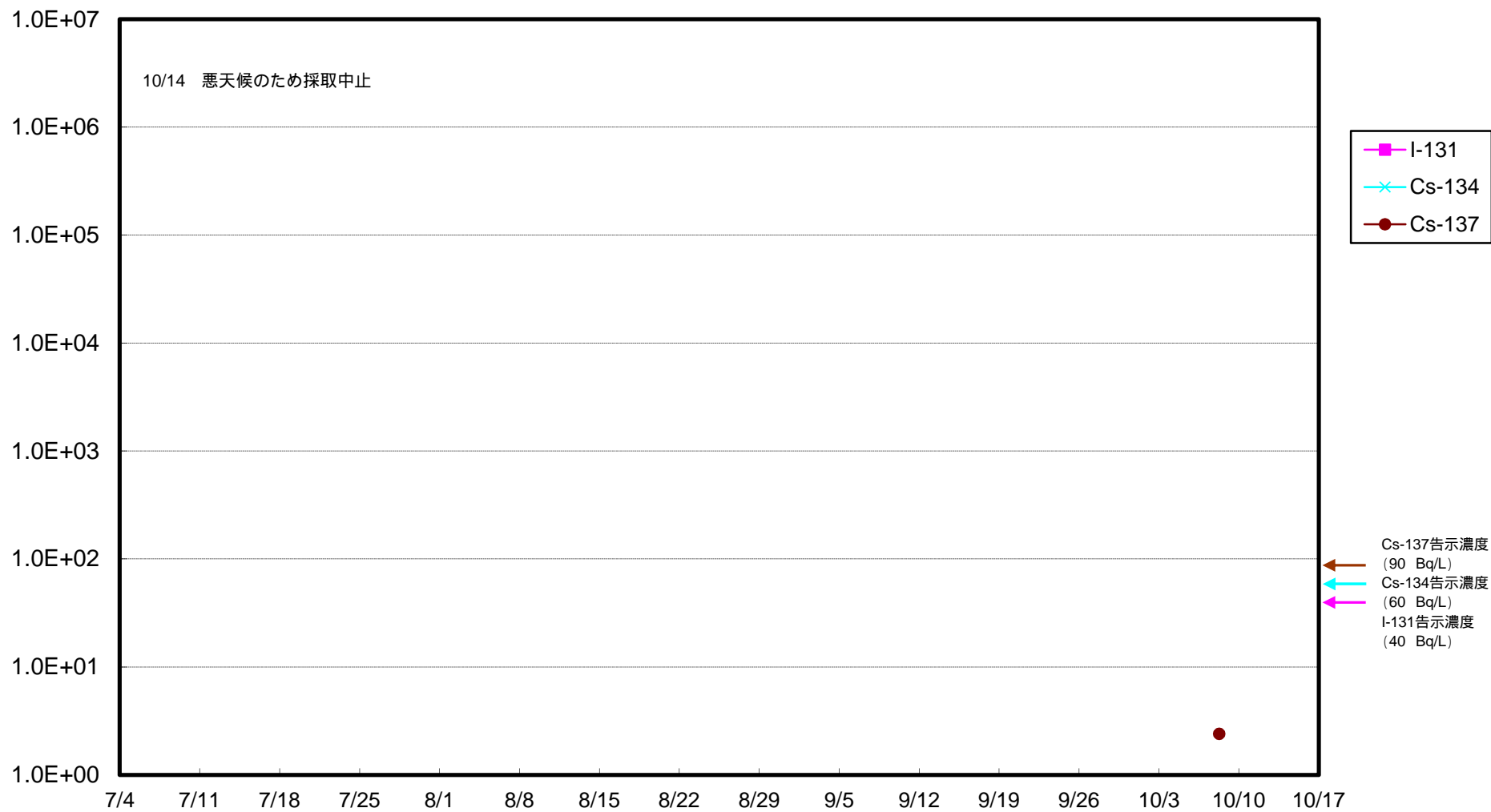
福島第一 4号機スクリーン海水放射能濃度 (Bq / L)



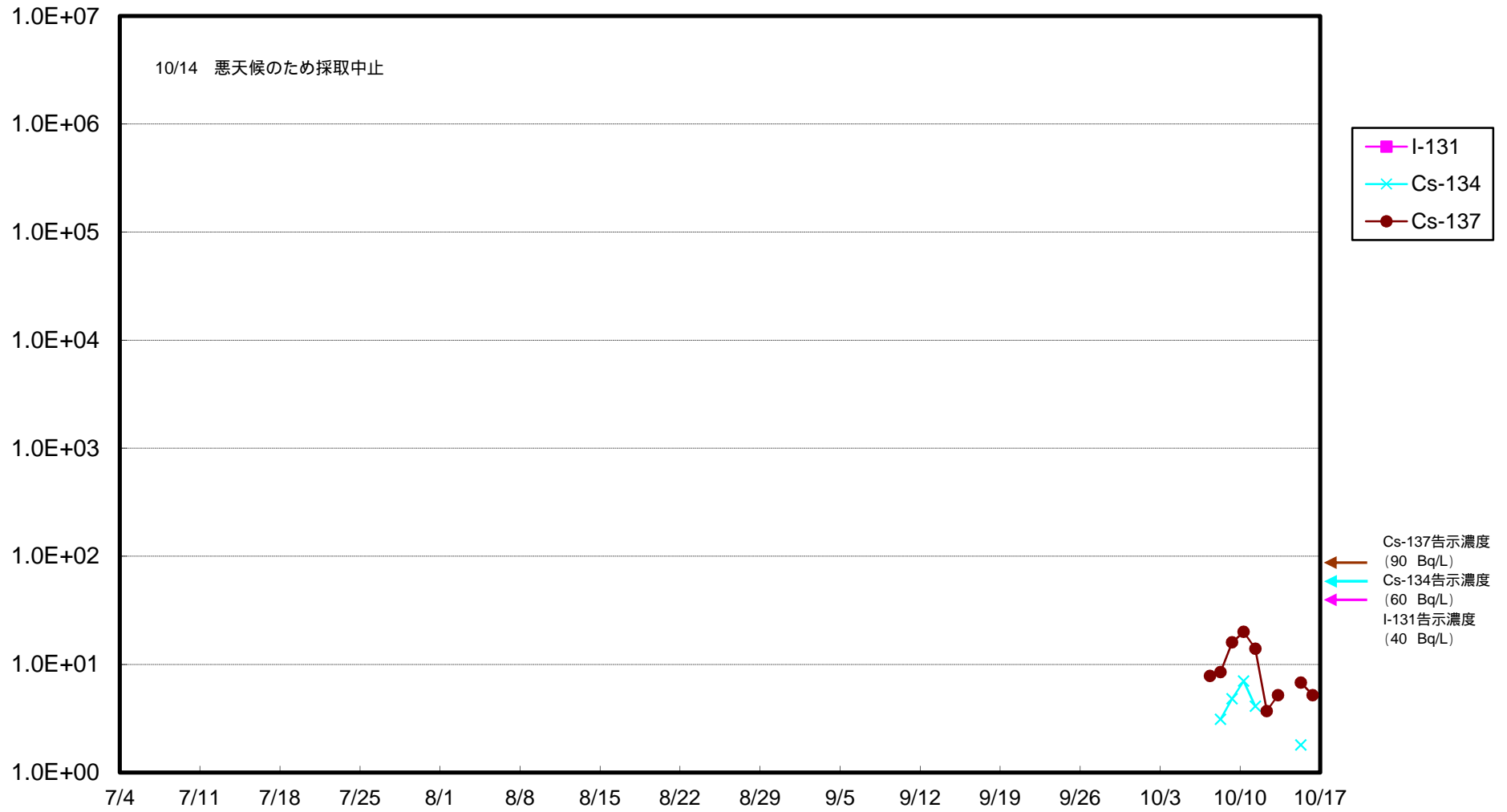
福島第一 1～4号機取水口内南側(遮水壁前)海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 6号機取水口前海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 港湾中央海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果<1/4>

(データ集約：10/15)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成25年2月11日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	3.7	0.06	60
Cs-137 (約30年)	10	0.11	90
H-3 (約12年)	170	0.00	60,000
全	ND	-	-
全	260	-	-
Sr-90 (約29年)	120	4.0	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年2月12日公表。H-3, 全, 全 については、平成25年6月19日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1.1Bq/L, 全 が約0.10Bq/L。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、H-3の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果<2/4>

(データ集約：10/15)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成25年3月11日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	31	0.52	60
Cs-137 (約30年)	56	0.62	90
H-3 (約12年)	120	0.00	60,000
全	ND	-	-
全	230	-	-
Sr-90 (約29年)	86	2.9	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年3月12日公表。H-3, 全, 全については、平成25年6月19日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1.5Bq/L, 全 が約0.11Bq/L。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、H-3の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果<3/4>

(データ集約：10/15)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成25年4月15日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	6.0	0.07	90
H-3 (約12年)	110	0.00	60,000
全	ND	-	-
全	140	-	-
Sr-90 (約29年)	77	2.6	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年4月16日公表。H-3, 全, 全については、平成25年6月19日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1.2Bq/L, Cs-134が約2.5Bq/L, 全 が約0.13Bq/L。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、H-3の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一 1～4号機取水口内 海水核種分析結果<4/4>

(データ集約：10/15)

採取場所	福島第一 1～4号機 取水口内北側海水		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成25年5月13日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	9.2	0.15	60
Cs-137 (約30年)	16	0.18	90
H-3 (約12年)	290	0.00	60,000
全	ND	-	-
全	490	-	-
Sr-90 (約29年)	340	11	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については、平成25年5月14日公表。H-3, 全, 全については、平成25年6月19日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1.3Bq/L, 全 が約0.13Bq/L。

(評価)

H-3, 全 放射能, Sr-90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、H-3の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。